

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2019年3月26日(火)19:30～

会場：平和会添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 2 -

咬合高径と歯牙の保存に悩んだ症例

平島 将臣 臣歯科診療所 〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江 4-19-20

経歴

1. 2006年3月 福岡歯科大学卒業
2. 2006年4月 福岡歯科大学医科歯科総合病院 咬合修復学講座冠橋義歯学分野
3. 2009年5月 医療法人社団 ホワイト歯科
4. 2012年7月 臣歯科診療所 開業

所属

1. 日本補綴歯科学会
2. 日本口腔インプラント学会
3. 日本顎咬合学会
4. 日本レーザー歯科学会

抄録

日常の臨床において、どこまで治療介入するかはいつも頭を悩ませることであり、特に咬合が崩壊した症例においては確実に深く考える必要性が出てくる。

症例は開業して間もなく来院された患者のもので、術者に経験値も足りず、予後に沢山の不安要素を抱えたまま補綴まで終わっている。

今回、患者の年齢からの再治療の必要性、顎位、咬合高径、歯牙の保存の是非や、治療後の対応等についての考察、疑問点を供覧させていただくと共に、諸先生方の御意見を賜りたい。